

2022年1月11日
株式会社博報堂メディカル

博報堂メディカル、製薬企業向け医療医薬品の説明 3DCG 動画制作サービス 「ヒューマンメーカー」の提供を開始

株式会社博報堂メディカル（東京都港区、代表取締役社長：小泉 直子）は、自社の強みであるメディカルコミュニケーションの知見をもとに製薬企業が医師や患者向けに提供する製品説明動画を、3DCG 技術を用いて一括制作するサービス「ヒューマンメーカー」の提供を開始しました。

通常の製品説明動画制作においては、マーケティング課題に応じた企画演出を当社が立案し、医療に精通したメディカルライターが企画に基づいた原稿を作成して、医療用医薬品に関するプロモーションコード審査を経た上で俳優や医療従事者などの実在の人物が出演する撮影を行っています。

それ故に撮影後のクライアント社内審査などにより修正が発生した場合、追加撮影する出演者の日程調整難航や制作コスト増により、予定通りに動画を公開できないことが多々ありました。また出演者の契約が切れることで動画素材そのものが活用出来なくなり、それまでの制作過程が無駄になるケースもありました。

今回の新たなサービスでは、精巧な 3DCG で作られた仮想の人物キャラクターを動画内の解説役として起用することで、物理的な撮影工程が不要となり柔軟な修正対応も可能となります。

仮想の人物キャラクターはベースとなる複数の人物造形からクライアントのお好みに応じて改編して仕上げます。実在の人物に近いキャラクターの創造により、2DCG に比べ写実的な映像になります。

当サービスでは、医療用医薬品に関する最新のプロモーションコードやマーケティングに精通した博報堂メディカルと博報堂グループ内外のクリエイティブ力を掛け合わせ、企画・原稿制作・3DCG 動画制作までワンストップで提供することで製薬企業向け動画制作における課題解決を目指してまいります。



クライアントのお好みの姿に仕上げた CG キャラクターが、医薬品の適正使用情報を解説

従来の動画制作過程で生じていた課題

- ・撮影後に変更が発生し、納品日程までの時間に乏しく再撮影が難しかった
- ・出演する医師や社員等の撮影日程調整に難航し、納期が危ぶまれた
- ・多くの動画を作りたいが、撮影コストが理由で動画を増やせなかった
- ・繁忙期に撮影スタジオが確保できず、動画の公開が遅れた
- ・撮影後の社内審査で修正が発生すると修正作業が困難

ヒューマンメーカーで解決を目指す

博報堂グループのフィロソフィーは「生活者発想」です。博報堂メディカルは、今後も生活者発想と豊富な専門知識で、医師をはじめとした医療業界の皆様のコミュニケーションの最大化に貢献してまいります。

【本件に対するお問い合わせ先】

博報堂メディカル ヒューマンメーカー開発担当
メールリングリスト： humanmaker@hakuhodo-medical.co.jp

【会社概要】

株式会社博報堂メディカル

所在地：〒107-0052 東京都港区赤坂 6-1-20 国際新赤坂ビル西館 8F

事業内容：医療用医薬品を対象とした専門広告会社。事業、領域、製品ビジョン策定やブランディング、マーケティング戦略立案、医師・生活者調査、メッセージ開発などの戦略構築から、製品情報概要など医師向け資料、学会速報、Web サイト構築、メディア施策等

ホームページ：<http://www.hakuhodo-medical.co.jp/>